



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日
東

上場会社名 尾家産業株式会社

上場取引所

コード番号 7481

URL <http://www.oie.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 尾家 健太郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 畑中 則行 TEL 06-6375-0151(代表)

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	31,656	11.0	925	4.5	939	4.4	665	△15.9
2025年3月期第1四半期	28,512	—	885	—	899	—	791	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 655百万円(5.5%) 2025年3月期第1四半期 621百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	80.32	—
2025年3月期第1四半期	95.63	—

(注) 当社は、2024年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	37,427	14,659	39.2
2025年3月期	37,597	14,476	38.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 14,659百万円 2025年3月期 14,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	57.00	102.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	47.00	—	47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	61,500	5.4	1,960	0.8	1,990	1.4	1,400	△7.6
通期	124,700	4.6	3,720	4.3	3,800	5.2	2,600	△7.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	9,255,000株	2025年3月期	9,255,000株
2026年3月期1Q	966,820株	2025年3月期	966,780株
2026年3月期1Q	8,288,190株	2025年3月期1Q	8,275,871株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、賃金の上昇効果はあるものの物価上昇がこれを上回り、実質賃金は5月時点で5か月連続のマイナス成長となり、個人消費は弱含みです。なお、6月の実質賃金は27か月ぶりにプラス転換したものの、今後もアメリカの関税政策や中東情勢の悪化による原油価格の変動などにより、先行きは見通しにくい状況にあります。

当社グループの主要取引先であります外食産業では、インバウンド需要や大阪・関西万博の影響などにより市場は順調に拡大いたしました。

一方で、原材料価格高騰や人手不足は経営を圧迫し、実質賃金の下落による消費者の節約志向とともに、外食産業にとっての不安材料となっています。

このような状況の下、当社は第6次中期経営計画の骨子である営業重点施策に営業資源を集中させるとともに、外食市場に対して確実に商品を確認し、適正な価格で提供させていただくことに注力いたしました。

宿泊施設では大幅に伸長するインバウンド需要、そして大阪・関西万博の効果などもあり活況を呈しており、当社も新規開業を中心に多くの宿泊施設と新たな取引が開始され、当第1四半期連結累計期間で、宿泊施設の売上は前年同期比115%と大幅に拡大いたしました。

ヘルスケアフード業態では、2025年5月から6月にかけて、病院や高齢者施設を対象にした「やさしいメニュー提案会」を東京、名古屋、大阪、広島、福岡の5会場で開催、計画を大幅に上回る1,000名以上のユーザーが来場し、高い評価をいただきました。当日は、「視覚が与える食欲への影響」や「スチコンの使いこなしとアレルギー・残食・味ボケ対策」のテーマで、美味しく食べるための条件や、調理課題・栄養課題・食材の経時課題等についての講演会も開催いたしました。会場では、各種メニューや新商品の紹介に加え、特に、高騰する原材料費に対してのコストダウンや調理工程の見直しによる人手不足問題解消に向けた提案が好評を博しました。また、ヘルスケアフード業態の専任担当を6名増員し、計11名を本社、東京、名古屋に配置いたしました。これにより、個別ユーザー向けプレゼンテーションの開催、各ユーザーの課題の把握と解決策の提案など、よりきめ細かなフォローが可能となり、当第1四半期連結累計期間のヘルスケアフード業態の販売実績は前年同期比約110%と大きく伸長いたしました。

商品戦略では、プライベートブランド商品（以下、P B商品）の開発およびリニューアルに力を入れ、新商品では4月に「サンホーム 冷凍かまぼこスライス3mm」、6月には「サンホーム さといもS 中国産」を発売いたしました。リニューアル商品については、4月に「サンホーム ホットケーキ（Ca・アマニオイル入り）」を発売、オメガ3脂肪酸（α-リノレン酸）を摂取できるアマニオイルを新たに配合し、「やさしいメニュー」ロゴ入り商品としてヘルスケア業態や宿泊業態での新規採用に繋がりました。

このような商品開発及び既存P B商品の拡販に努めた結果、P B商品は前年同期比108%の売上となりました。

直営店舗展開では、サンブラザ布施店に厨房設備を設置し店内調理による惣菜の販売を開始いたしました。お客様からは大変好評で、入店客数、売上ともに大きく伸長いたしました。ももひこや あまがさき キューズモール店では、開店一周年を記念してマスコットキャラクターの名称募集企画を実施いたしました。今後は、さまざまな店頭販促を実施する予定です。

主に楽天市場で展開しているE C（電子商取引）ビジネスでは、取扱アイテムは約1,000品となり、アクセス数は前年同期比400%以上、売上も前年同期比400%と大幅に伸長いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高316億56百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益9億25百万円（前年同期比4.5%増）、経常利益9億39百万円（前年同期比4.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億65百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期累計会計期間末の総資産は374億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億70百万円の減少となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が5億29百万円増加した一方で、未収入金が7億45百万円減少したことによります。

（負債）

負債は227億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億53百万円の減少となりました。

主な要因は、買掛金が4億78百万円、流動負債のその他が1億63百万円増加した一方で、賞与引当金が5億2百万円、未払法人税等が5億35百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産は146億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億83百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が1億93百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,128	6,122
受取手形及び売掛金	14,944	15,474
商品	3,606	3,853
未収入金	1,755	1,010
その他	63	157
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	26,492	26,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,842	10,855
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,565	△6,666
建物及び構築物（純額）	4,276	4,188
機械装置及び運搬具	463	462
減価償却累計額及び減損損失累計額	△377	△381
機械装置及び運搬具（純額）	86	81
工具、器具及び備品	564	547
減価償却累計額及び減損損失累計額	△429	△420
工具、器具及び備品（純額）	135	126
土地	2,280	2,280
有形固定資産合計	6,779	6,676
無形固定資産		
のれん	46	44
ソフトウェア	110	102
その他	27	27
無形固定資産合計	184	174
投資その他の資産		
投資有価証券	811	827
関係会社株式	95	95
差入保証金	2,133	2,109
繰延税金資産	944	748
その他	209	238
貸倒引当金	△53	△54
投資その他の資産合計	4,141	3,965
固定資産合計	11,105	10,815
資産合計	37,597	37,427

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,459	16,938
短期借入金	50	—
1年内返済予定の長期借入金	53	51
リース債務	42	29
未払金	239	364
未払費用	1,789	1,759
未払法人税等	667	131
賞与引当金	785	283
その他	139	303
流動負債合計	20,227	19,861
固定負債		
長期借入金	62	50
リース債務	88	88
役員退職慰労引当金	220	220
資産除去債務	774	775
退職給付に係る負債	1,605	1,628
その他	143	143
固定負債合計	2,894	2,906
負債合計	23,121	22,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,240	1,240
利益剰余金	12,882	13,075
自己株式	△1,496	△1,496
株主資本合計	13,932	14,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	323
退職給付に係る調整累計額	210	210
その他の包括利益累計額合計	544	534
純資産合計	14,476	14,659
負債純資産合計	37,597	37,427

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	28,512	31,656
売上原価	23,153	25,795
売上総利益	5,359	5,860
販売費及び一般管理費	4,474	4,935
営業利益	885	925
営業外収益		
受取利息	—	0
受取配当金	6	6
受取賃貸料	4	2
貸倒引当金戻入額	0	—
雑収入	3	4
営業外収益合計	15	14
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	0	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	899	939
特別利益		
投資有価証券売却益	249	—
特別利益合計	249	—
税金等調整前四半期純利益	1,149	939
法人税、住民税及び事業税	173	72
法人税等調整額	185	201
法人税等合計	358	273
四半期純利益	791	665
親会社株主に帰属する四半期純利益	791	665

四半期連結包括利益計算書
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	791	665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	△9
退職給付に係る調整額	△1	△0
その他の包括利益合計	△169	△10
四半期包括利益	621	655
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	621	655
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	131百万円	131百万円
のれんの償却額	2	2